



### 服従の心理

政治行動論-12, 13

- S・ミルグラム 1974, 『服従の心理—アイヒマン実験』 岸田秀訳 河出書房新社 1985年.



### ミルグラムの実験

- ・ 動機：ナチのユダヤ人絶滅作戦 (18)
  - 良心と「命令」の衝突
- ・ 実験の概要 (19-20)
- ・ 実験の手順 (30-)
  - 被験者の募集 (33)
  - カバーストーリー (34)
  - 学習課題 (37)
  - ショック送電器とサンプル・ショック (39)
  - 実験者の対応 (40)
  - 「生徒」の反応 (41-)
  - 「測度」 (43)

(カッコ) 内の数字は改訂版翻訳の該当ページ



### 行動の予測

- ・ 表1：自分の決裂点の予測 (49)
  - 不服従（最後までいかない）を100%が予測



### Closeness of the Victim

- ・ 実験1 (Remote-Feedback, 生徒は別室)
- ・ 実験2 (Voice-Feedback, 生徒の声が)
- ・ 実験3 (Proximity-Feedback, 同室)
- ・ 実験4 (Touch-Feedback, 手を押さえる)

#### ■結果

- 表2, 図6
- 「距離」は影響を与える
- 良心が唯一の規定要因ではない

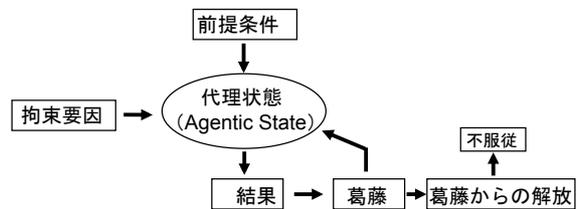


### 実験のバリエーション

- ・ 実験5 (研究室から普通の部屋に移動) (82)
- ・ 実験6 (優しいような研究者) (86)
- ・ 実験7 (研究者が電話で指示) (87)
- ・ 実験8 (女性の「先生」) (91)
- ・ 実験9 (生徒が拒否できる条件付きで) (92)
- ・ 実験10 (Yale外で) (95)
- ・ 実験11 (ショックレベルの自由選択) (100)



### 服従のメカニズム



pp. 203